



クレディセゾン、インドネシアのデジタルレンディング会社 JULO に 8,000 万米ドルの投資を実行

株式会社クレディセゾン（本社：東京都豊島区、代表取締役（兼）社長執行役員 COO:水野 克己、以下：クレディセゾン）は、シンガポールの子会社を通して、インドネシアにおいて金融サービスを十分に享受できないアンダーサブド層の人々を対象にデジタルレンディング事業を行う Julo Holdings Pte. Ltd.（本社：シンガポール、代表：Adrianus Hitijahubess、以下：JULO）に対し、8,000 万米ドルの資金提供を行いました。

JULO は、インドネシアにて 2021 年よりバーチャルクレジットカードを提供しており、モバイルアプリを用いたデジタルデータによる与信およびリスク評価プラットフォームをインドネシア全土で展開したパイオニアです。

同国では資金の貸し手、借り手をつなぐ Peer to Peer (P2P) プラットフォームがファイナンスの重要な役割を担っており、近年競争が激化する中で、JULO は 2020 年のコロナ禍において黒字化が見えるまでに成長し、2021 年の貸付件数は前年比で 3 倍以上に増加、今後 12 カ月において貸付残高は 5 倍以上に拡大する見込みです。

クレディセゾンは、東南アジア・インドを中心としたグローバル市場におけるファイナンシャル・インクルージョンの実現に向け、アンダーサブド層に対してデジタル化・現地化された金融サービスを提供しております。中でも成長著しいインドネシアを重要なマーケットの一つとして捉え、JULO への投資を通じて同国における事業拡大を目指します。なお今回の投資は、3,000 万米ドルの出資と 5,000 万米ドルの融資の組み合わせによるものです。

また、クレディセゾンは JULO の出資者の中で、唯一グローバルに事業展開する企業投資家として、同社の著しい成長期において事業運営支援にも積極的に関与いたします。

さらに、両社は他の新興国市場への共同進出についても検討してまいります。



クレディセゾン 専務執行役員 森航介（左）と JULO CEO 兼共同創設者 Adri 氏（右）

■ JULO CEO 兼共同創設者 Adri 氏コメント

JULO はすでに多くのインドネシアの人々に利用されており、貸付の 72%が事業資金、住宅改修、教育などに使われています。クレディセゾンとの協業により、アンダーサーブド層の人々のための金融サービスのあるべき姿を再構築し、大きく前進させる新たな機会を得ることができました。

■ クレディセゾン グローバル事業部管掌 専務執行役員 森航介コメント

金融サービスのイノベーションには、現地消費者の行動とニーズを深く理解することが必要です。JULO は、数年間で 3 億米ドル以上の貸付実績を持ち、コロナ禍においても需要を十分に見込めるビジネスとして成長してきました。私たちは、東南アジアの人々にとって真に意味のある金融サービスへの進化を目指す JULO との協業に期待しています。

■ 今回の JULO 資金調達について

クレディセゾンによる今回の総額 8,000 万米ドルの投資は、シンガポールでインド・東南アジアを中心に投融資事業を行う Saison Capital Pte. Ltd. による 5,000 万米ドルの融資を含みます。、3,000 万米ドルの資本は、分析や製品開発、マーケティング等の顧客獲得や有望な人材の採用に、5,000 万米ドルの融資はプラットフォームにおける貸付のために使用され、2 つの側面で JULO の成長を促すことを企図しています。なお、JULO の既存投資家には、Skystar Capital, Saratoga Investama, East Ventures, Quona Capital, Central Capital Ventura, MDI Ventures, Gobi Partners 等著名な投資家が名を連ねています。

■ 参考

<JULO について>

2016 年末に設立されたジャカルタを拠点に事業を展開するデジタルレンディング会社です。インドネシアの金融サービス庁から最初にライセンスを取得したフィンテックレンディング事業者の一社で、金融商品へのアクセスに革命を起こす存在として期待されています。

同社のアプリは 500 万回以上ダウンロードされており、50 万を超すユーザーがキャッシングやその他クレジットサービスを日常的に利用しています。信用情報等のインフラ整備が不十分なため、個品割賦や取引毎に審査が必要なキャッシングが主流である同国において、JULO の強みは、アプリを使った一度の審査で限度額内であれば何度でもサービスを利用できる点です。また AI を用いて、サービス利用中における 5,000 以上のデータ項目からリスクを評価し、途上与信や不正検出などを 3 秒以内に実行できる先進的なシステムを保有しています。

<JULO の主な実績>

2016 年 Winner of Indonesia Fintech Festival

2018 年 Winner of UN Fintech Challenge

2019 年 Winner of Inclusive Fintech 50

2019 年 ISO27001 取得（国際情報セキュリティ規格）

2020 年 金融庁（OJK）よりフィンテックレンディング事業者として正式にライセンスを取得

※詳しくはこちら <https://www.julo.co.id>

<クレディセゾンについて>

1982年にクレジットカードの発行を開始して以来、クレジットカード業界において独自の地位を築き、日本国内でのクレジットカード保有者数は3,600万人を超えるまでに成長しました。常に顧客志向の姿勢を貫きながら、サービス先端企業として、革新的な商品・サービスを次々と生み出しています。また、アジアにおいて他にないファイナンスカンパニーを目指し、グローバル事業を将来の収益基盤の柱として位置づけ、成長著しいアジア圏内において、台頭する中間層に対するファイナンシャル・インクルージョンを推進しております。

※詳しくはこちら <https://corporate.saisoncard.co.jp/>